

谷川俊太郎氏の講座へ 400人



詩人谷川俊太郎氏を招いてアスパル文学講座が11月17日、文化会館で開かれました。詩の朗読を交えたトーク形式の講座に市民約400人が耳を傾けました。

海辺の飛砂を防ぐため堆砂垣



市のサーフィン団体や市ウミガメ保護監視員ら約80人が11月14日、ロングビーチの美しい砂浜を保護しようと12本の堆砂垣を6本間隔で7通り設置しました。

ふれあいの輪が大きく広がる



浜岡福祉会館で11月20日、御前崎市ふれあい広場が開かれました。訪れた市民は、一輪車の実演や災害救助犬の演技といったさまざまな催しを楽しみました。

入院患者へ歌声をプレゼント



御前崎総合病院で12月15日、クリスマスコンサートが開かれました。入院患者やスタッフ約90人が御前崎市少年少女合唱団のクリスマスソングを楽しみました。

防火を願い消防車両3台更新



市がオフサイトセンターで11月25日、1分団、2分団、6分団の可搬ポンプ積載車と2分団、6分団の小型可搬ポンプを市消防団へ引渡しました。

御 御前崎に息づく冬の伝統 幼稚園児が切り干し体験

御前崎幼稚園で12月16日、園児73人が祖父母の指導のもと「いも切り干し作り」に挑戦しました。

材料のイモはハマコマチという品種。10月末に園児が同園西側の「もりもり畑」で収穫した約40kgを使用しました。

園児たちは蒸したイモの皮をむき「ペンペン」と呼ばれるイモ切り器具を使って、5mm程度の均等な厚さになるように切っていました。切り終えたイモは、一枚一枚丁寧にせいろの上に並べられ「遠州の空っ風」にさらして乾燥させました。

「ペンペン」でイモ切り作業を体験する園児たち



防 景観賞で海岸林が優秀賞 防災林組合が市長へ報告

第3回県景観賞で遠州灘沿岸の「斜め海岸林」が優秀賞を受賞し12月1日、市役所で松本猛市海岸防災林保護組合長が石原市長に受賞を報告しました。

掛川市から御前崎市の遠州灘沿岸約12kmは、江戸時代末期から海岸林を斜めに設け、吹き付ける風や砂を海側に受け流し、後背地を農地として利用してきました。100年以上掛けて造成してきた海岸林が評価されたことに松本さんは「受賞は先人たちの苦勞が実った成果です」と話し、石原市長は「地道な取り組みの成果ですね」とねぎらいました。

石原市長へ受賞報告する松本組合長(右)

